

アンケート調査結果の概要について

第6次宇都宮市高齢者保健福祉計画・第5期宇都宮市介護保険事業計画の策定に当たり、高齢者の健康づくりや生きがいつくり、高齢者福祉や介護サービスの利用意向を把握し、各種施策や事業の基礎資料とするため、次の調査を実施した。

○ 第6次高齢者保健福祉計画・第5期介護保険事業計画の策定に係るアンケート調査

1 高齢者調査(日常生活圏域ニーズ調査)

- (1) 調査地域 宇都宮市内全域
- (2) 調査対象者
 - ア 65歳以上で、介護保険の要支援・要介護認定を受けていない市民 84,196人
(以下、「一般高齢者」という。)
 - イ 65歳以上で、介護保険の要支援1・2、要介護1・2の認定者 9,078人
(以下、「認定者」という。)
- (3) 調査期間 平成23年2月26日～3月31日
- (4) 調査方法 郵送法

2 若年者調査(高齢者福祉に関するアンケート調査)

- (1) 調査地域 宇都宮市内全域
- (2) 調査対象者 20歳から64歳以下の市民 2,000人
- (3) 調査期間 平成23年4月26日～5月13日
- (4) 調査方法 郵送法

3 介護保険利用者実態調査

- (1) 調査地域 宇都宮市内全域
- (2) 調査対象者 要介護等認定申請者 843人
- (3) 調査期間 平成23年4月～6月中旬
- (4) 調査方法 訪問調査員による聞き取り調査

(参考) 各調査における回収結果

調査名	対象者数	回答者数	回答率
高齢者調査	93,274人	70,294人	75.4%
一般高齢者	84,196人	64,225人	76.3%
認定者	9,078人	6,069人	67.2%
若年者調査	2,000人	810人	40.5%
介護保険利用者実態調査	843人	843人	100.0%

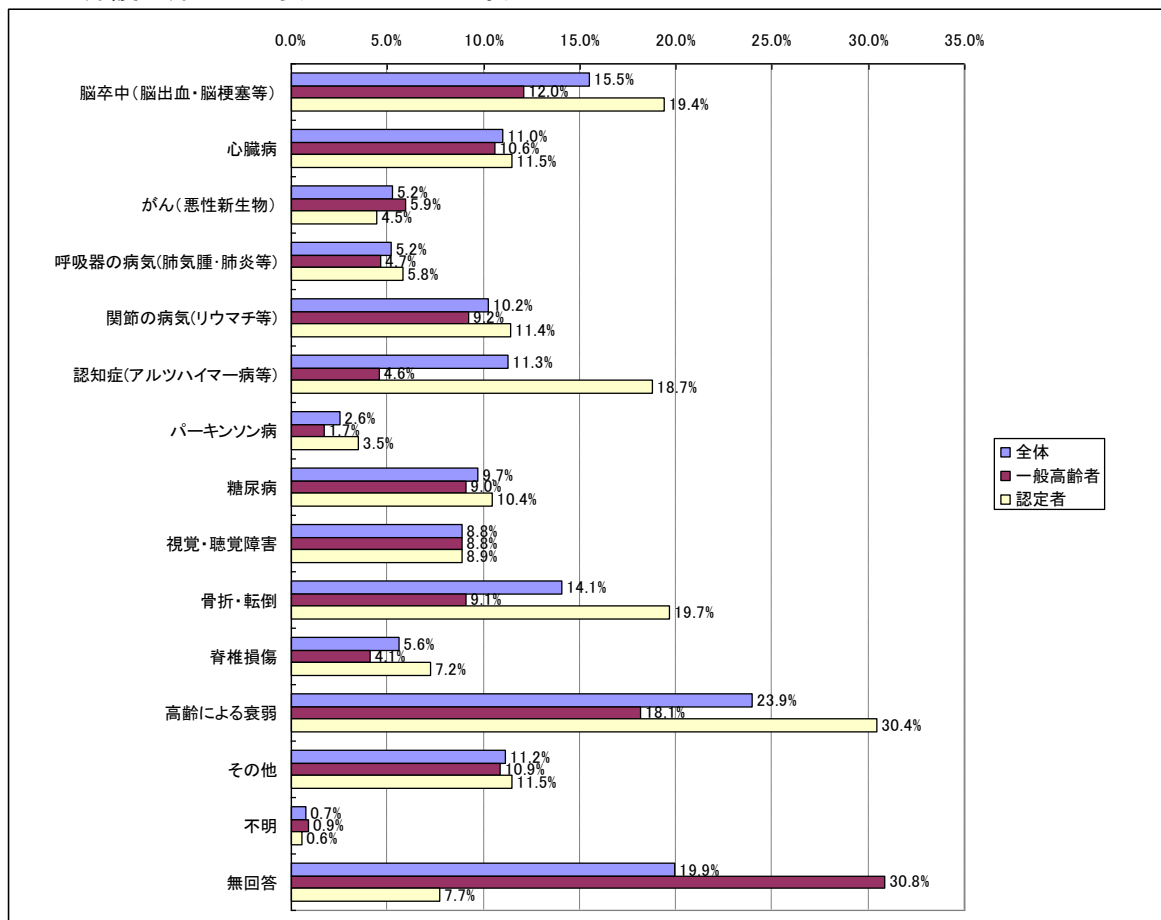
1 高齢者調査

(1) 介護・介助が必要になった主な原因

介護・介助が必要になった主な原因については、一般高齢者，認定者ともに，「高齢による衰弱」，「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」との回答が多くなっている。

また，認定者については「認知症（アルツハイマー病等）」（18.7%）との回答が多くなっている。

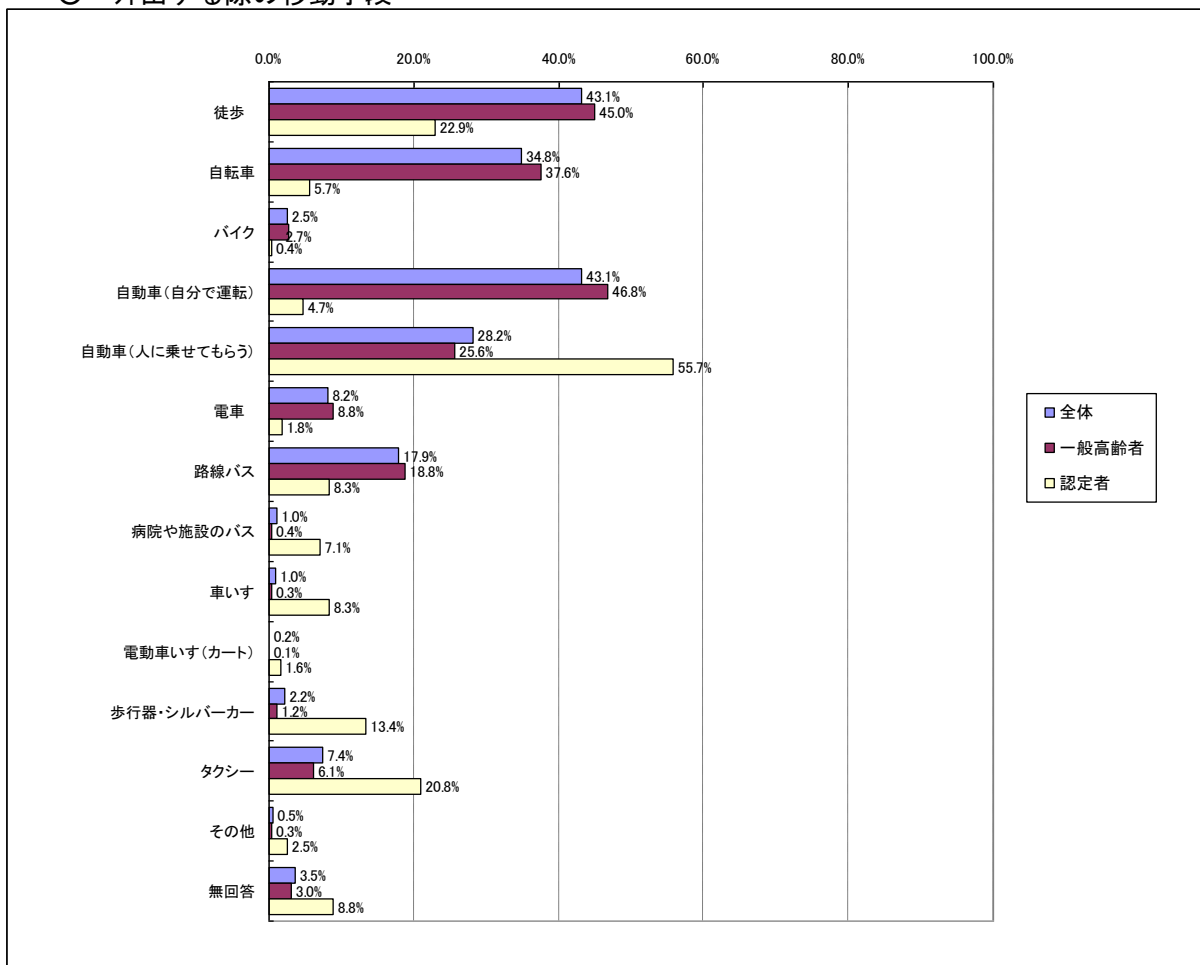
○ 介護・介助が必要になった主な原因



(2) 外出する際の移動手段

- ・ 外出する際の移動手段について、一般高齢者では「自動車(自分で運転)」(46.8%)、「徒歩」(45.0%)、「自転車」(37.6%)の順となっている。
- ・ 認定者については、「自動車(人に乗せてもらう)」(55.7%)、「徒歩」(22.9%)、「自転車」(34.8%)の順となっている。
- ・ 路線バスの利用については、一般高齢者では 18.8%、認定者では 8.3%となっている。

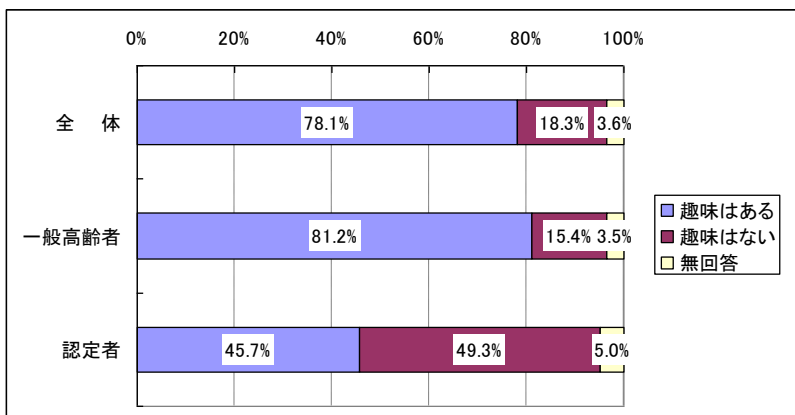
○ 外出する際の移動手段



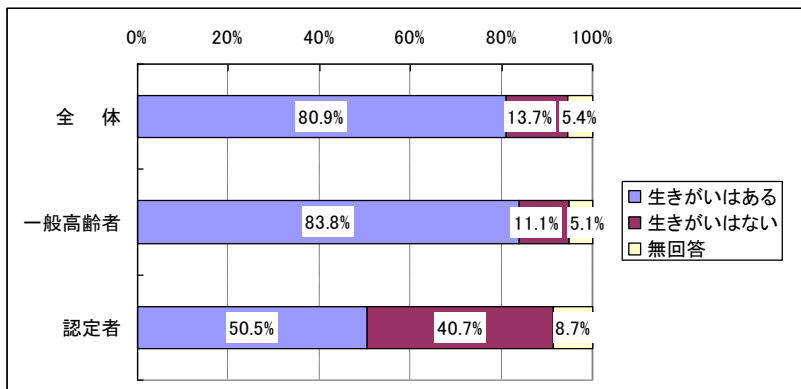
(3) 趣味や生きがいについて

- ・ 趣味の有無について、一般高齢者は 81.2%が「趣味はある」と回答しているのに対し、認定者については 45.7%と、一般高齢者と比較すると 35.5%低くなっている。
- ・ 生きがいの有無について、一般高齢者は 83.8%が「生きがいはある」と回答しているのに対し、認定者については 50.5%と、一般高齢者と比較すると 33.3%低くなっている。

○ 趣味の有無



○ 生きがいの有無

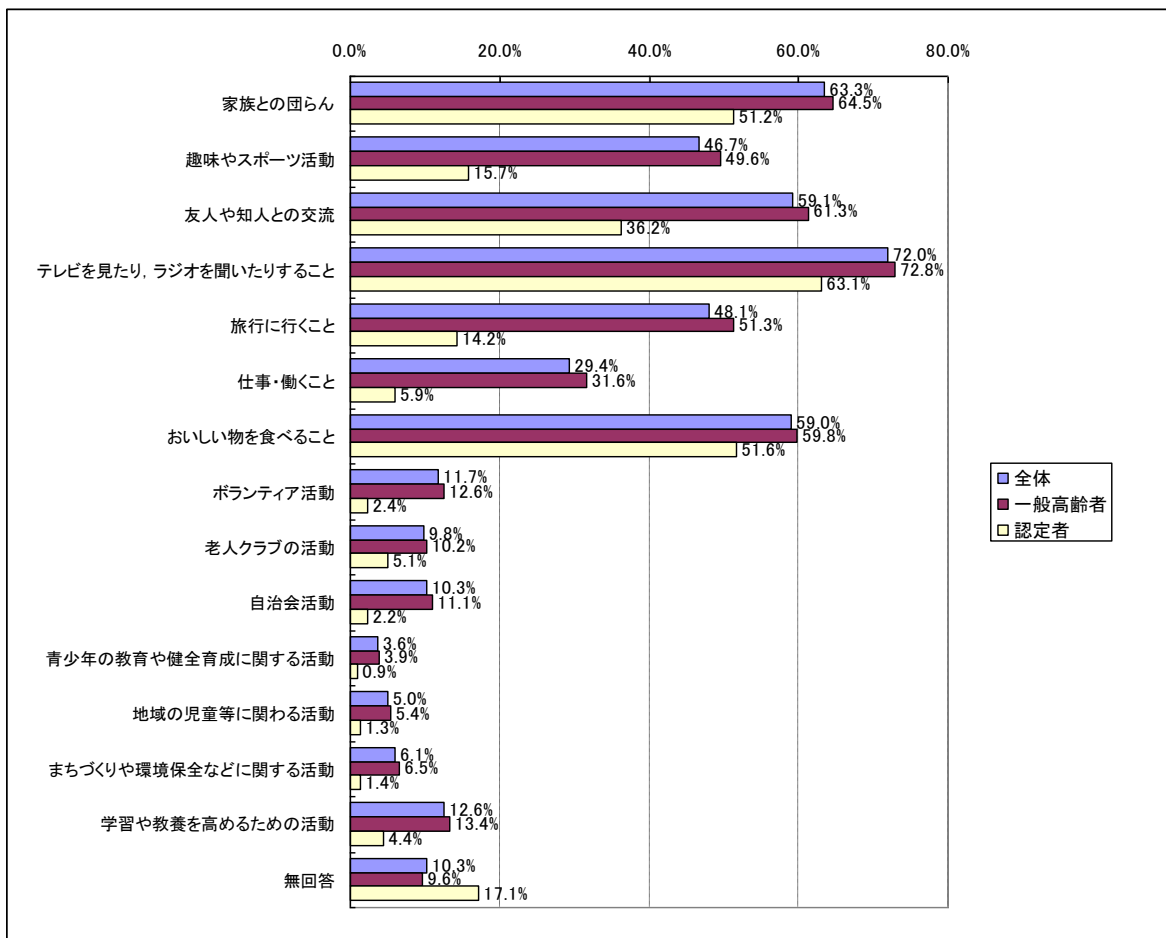


(4) 生きがいについて

ア 現在、生きがいを感じることに

- ・ 現在、生きがいを感じることは、一般高齢者、認定者ともに「テレビを見たり、ラジオを聞いたりすること」との回答が多くなっている。次いで、一般高齢者では、「家族との団らん」(64.5%)、「友人や知人との交流」(61.3%)、認定者では「おいしい物を食べること」(51.6%)、「家族との団らん」(51.2%)との回答が多くなっている。

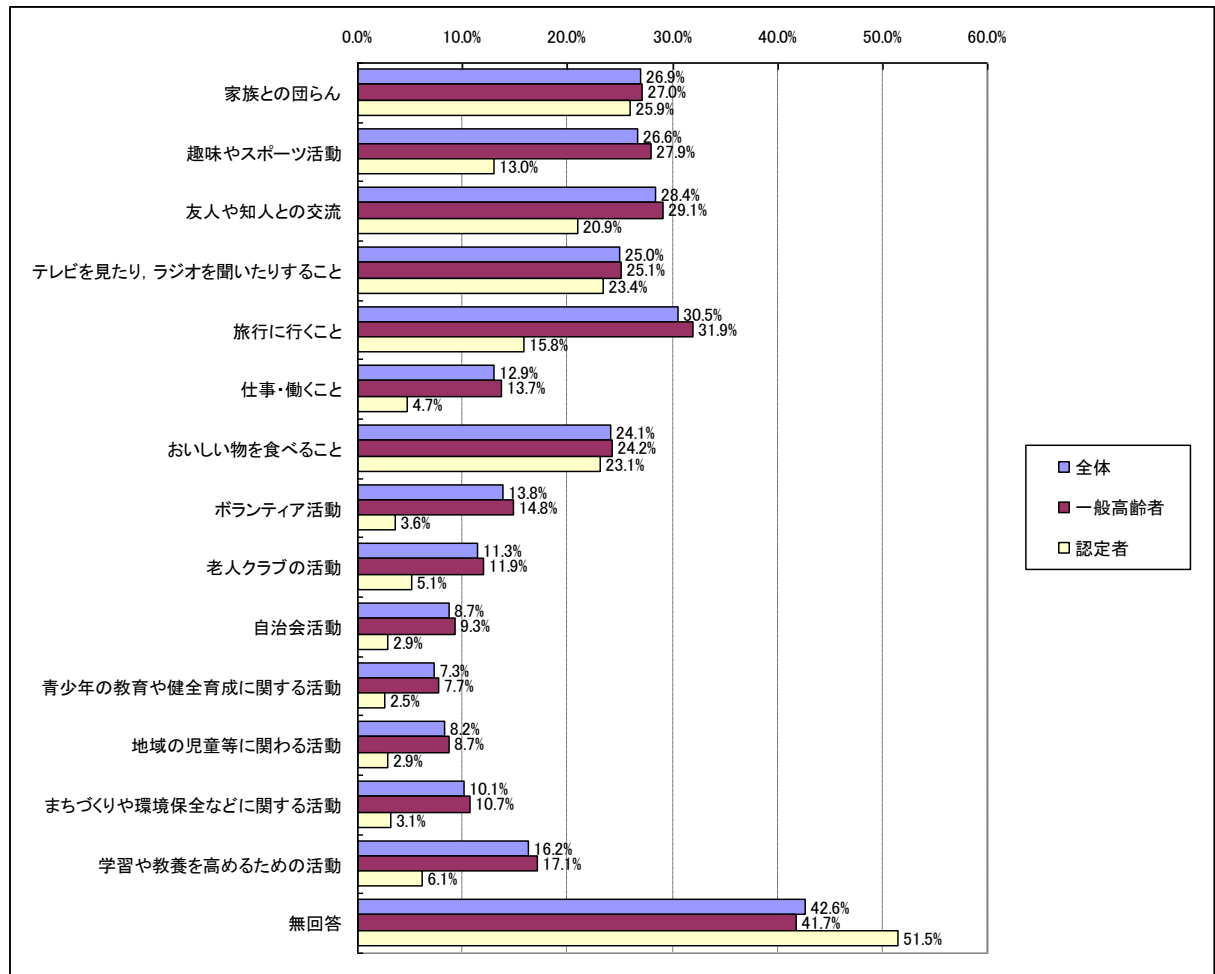
○ 現在、生きがいを感じることに



イ 今後、生きがいにしたいこと

- ・ 今後、生きがいにしたいことについて、一般高齢者では「旅行に行くこと」(31.9%)との回答が多くなっているのに対し、認定者については「家族との団らん」(25.9%)との回答が多くなっている。

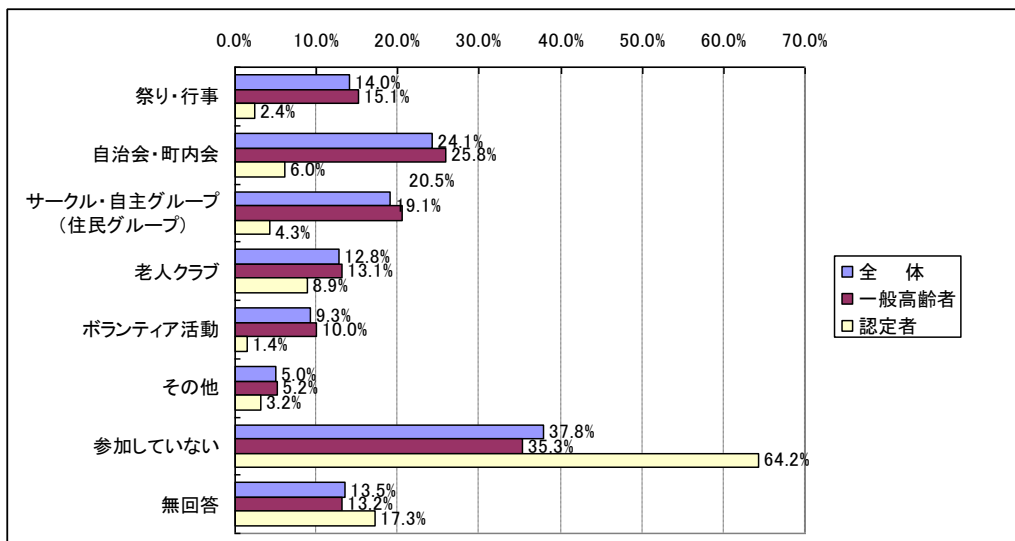
○ 今後、生きがいにしたいこと



(5) 参加している地域活動等について

- ・ 一般高齢者については、「自治会」(25.8%)、「サークル・自主グループ」(20.5%)との回答が多くなっている。
- ・ 認定者については、「参加していない」との回答が6割を超える結果となっている。

○ 参加している地域活動



(6) 介護予防事業の認知度

- ・ 介護予防に関する取組の認知度のうち、げんき応援教室（通所型介護予防事業）、はつらつ教室（介護予防教室）の認知度が30%を下回る結果となっている。

○ 介護予防事業の認知度

選択項目	知っている	利用したことがある	利用して満足だった	今後、利用したい	無回答
家庭訪問	44.7%	1.7%	0.8%	14.1%	44.5%
健康相談	35.7%	1.6%	0.5%	15.2%	51.3%
健康教育・講演会	31.0%	2.0%	0.7%	14.8%	56.1%
げんき応援教室（通所型介護予防事業）	23.8%	1.6%	0.9%	17.0%	60.9%
はつらつ教室（介護予防教室）	28.0%	3.1%	1.8%	18.5%	55.9%

(7) 福祉サービスの認知度

- 福祉サービスの認知度については、「高齢者専用バスカードの購入費助成」が認知度(36.9%)、利用希望(17.8%)ともに最も高くなっている。

○ 福祉サービスの認知度

選択項目	知っている	利用したことがある	利用して満足だった	今後、利用したい	無回答
生きがい対応型デイサービス	33.3%	1.3%	1.0%	12.4%	56.0%
高齢者短期宿泊事業	29.1%	0.5%	0.2%	12.4%	60.1%
緊急通報システム	25.2%	0.5%	0.4%	11.8%	64.3%
日常生活用具給付貸与事業	24.8%	0.7%	0.5%	11.5%	64.8%
高齢者にやさしい住環境整備事業	27.4%	1.2%	0.8%	13.1%	61.0%
高齢者無料入浴券の交付	18.9%	0.3%	0.1%	8.4%	73.3%
保険適用外はり・きゅう・マッサージ施術料の助成	21.8%	3.0%	1.9%	17.0%	61.9%
高齢者等ホームサポート事業	17.8%	0.4%	0.3%	12.0%	71.2%
高齢者専用バスカードの購入費助成	36.9%	9.6%	9.6%	17.8%	45.6%
家族介護教室	17.6%	0.4%	0.2%	10.0%	73.2%
健康に関するイベント	29.0%	2.6%	1.2%	13.3%	59.0%
地域で健康づくりをすすめるための活動や講習会	21.7%	1.5%	0.7%	13.7%	66.1%

(8) 地域包括支援センターの認知度

- 地域包括支援センターの認知度は、「利用したことがある」(13.8%)、「知っているが利用したことはない」(53.4%)を合わせると67.2%となっており、前回の調査結果から、28.8ポイント改善した。

○ 地域包括支援センターの認知度

選択項目	平成23年度		平成20年度	
	人数	構成比	人数	構成比
利用したことがある	8,028人	13.8%	44人	3.6%
知っているが利用したことはない	31,087人	53.4%	423人	34.8%
知らない	19,075人	32.8%	749人	61.6%
無回答	12,131人	-	62人	-
合計	70,321人	100.0%	1,278人	100.0%

(9) 介護保険制度の認知度

- ・ 介護保険制度の認知度は、「よく知っている(5.2%)」「ある程度知っている(44.1%)」を合わせると 49.3%となっており、高齢者の2人に1人は介護保険制度を知っていると答えている。
- ・ 一方、「あまり知らない」(35.0%)、「ほとんど知らない」(15.7%)との合計は 50.7%となっている。

○ 介護保険制度の認知度

選択項目	今回調査		平成20年度調査		平成17年度調査	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
よく知っている	3,100人	5.2%	76人	6.3%	124人	6.9%
ある程度知っている	26,304人	44.1%	577人	48.0%	616人	34.4%
あまり知らない	20,896人	35.0%	399人	33.2%	-	-
少しは知っている	-	-	-	-	654人	36.5%
ほとんど知らない	9,400人	15.7%	150人	12.5%	397人	22.2%
無回答	10,621人	-	76人	-	257人	-
合計	70,321人	100.0%	1,278人	100.0%	2,048人	100.0%

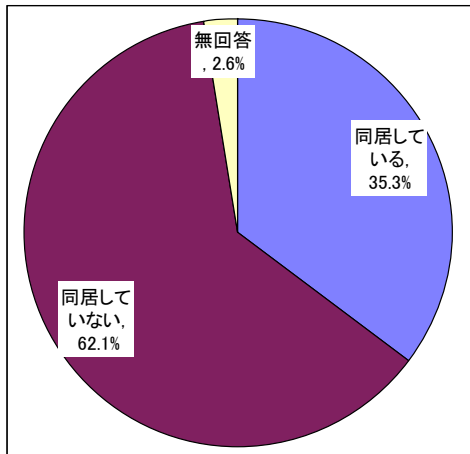
2 若年者（20歳以上64歳以下）の状況

(1) 高齢者介護の現状や考え

ア 65歳以上の高齢者との同居の有無

65歳以上の高齢者との同居の有無については、「同居していない」（62.1%）との回答が半数以上となっている。

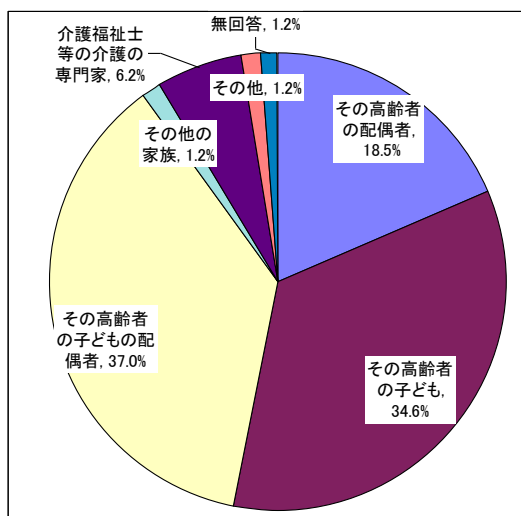
○ 高齢者との同居の有無



イ 主な介護者について

主な介護者については、「その高齢者の子どもの配偶者」（37.0%）との回答が最も多くなっており、次いで、「その高齢者の子ども」（34.6%）「その高齢者の配偶者」（18.5%）の順になっている。

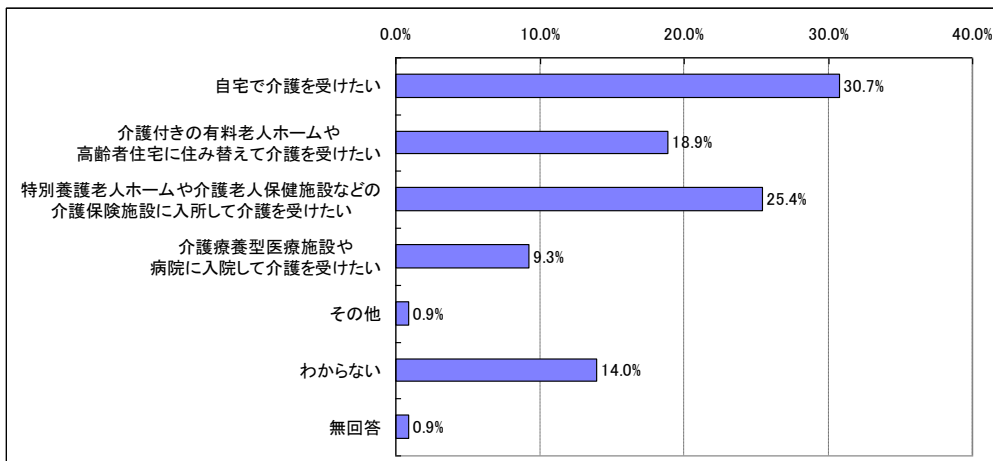
○ 主な介護者



ウ 回答者自身に介護が必要となった場合に希望する介護

回答者自身に介護が必要となった場合に介護を受けたい場所については、「自宅」（30.7%）との回答が最も多くなっており、次いで「特別養護老人ホームや介護老人保健施設などの介護保険施設」（25.4%）、「介護付きの有料老人ホームや高齢者住宅」（18.9%）の順となっている。なお、特別養護老人ホームや介護付き有料老人ホーム、介護療養型医療施設などの施設・居住系サービスの合計は 53.6% となっている。

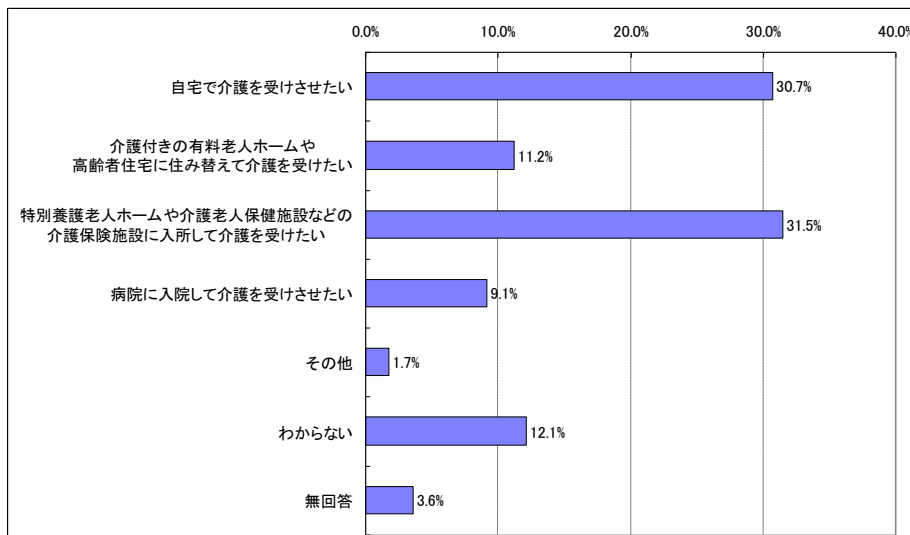
○ 回答者自身に介護が必要となった場合に希望する介護



エ 回答者自身の家族に介護が必要となった場合に受けさせたい介護

回答者の家族に介護が必要になった場合、介護を受けさせたい場所については、「特別養護老人ホームや介護老人保健施設などの介護保険施設」（31.5%）との回答が最も多くなっており。次いで「自宅」（30.7%）、「介護付きの有料老人ホームや高齢者住宅」（11.2%）の順となっている。

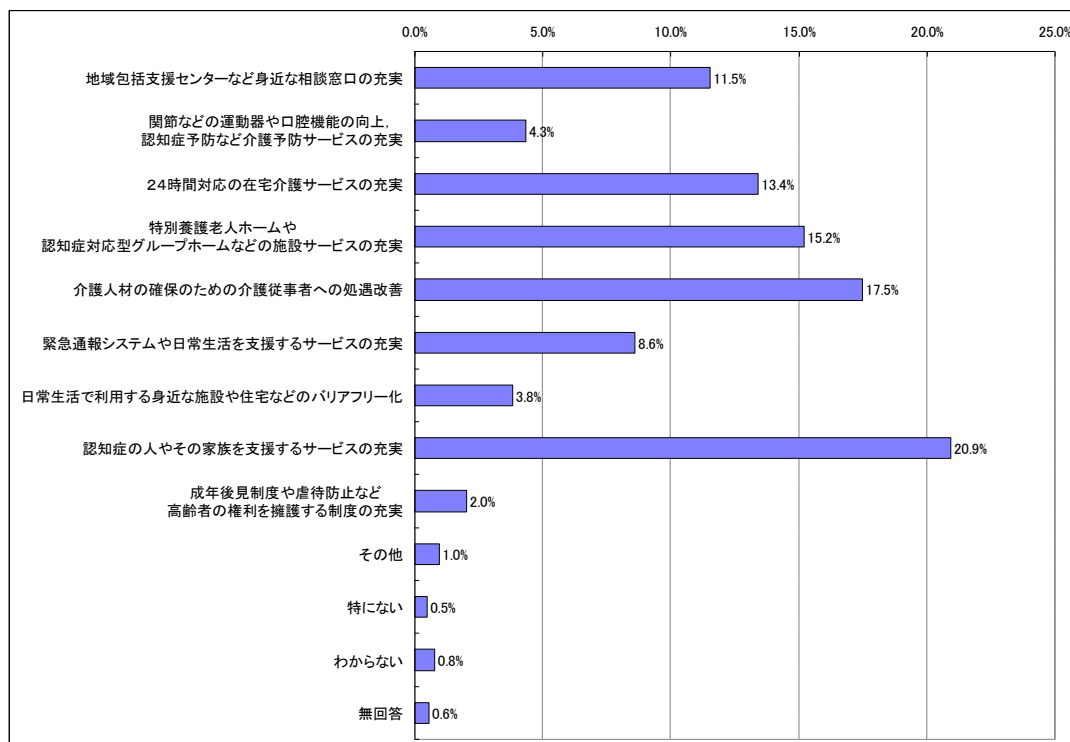
○ 回答者自身の家族に介護が必要となった場合に受けさせたい介護



オ 今後、重点を置くべきこと

介護を必要とする高齢者のために重点を置くべきことについては、「認知症の人やその家族を支援するサービスの充実」(20.9%)との回答が最も多くなっており、次いで「介護人材の確保のための介護従事者への処遇改善」(17.5%)、「特別養護老人ホームや認知症対応型グループホームなどの施設サービスの充実」(15.2%)の順になっている。

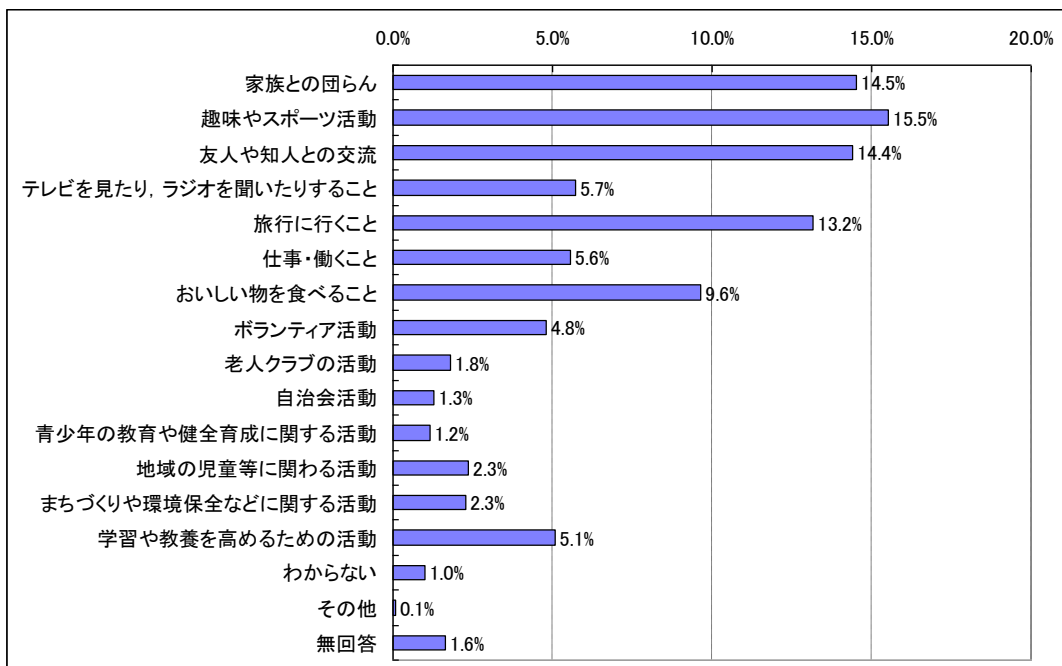
○ 今後、重点を置くべきこと



(2) 生きがいについて

- ・ 65歳以上の高齢者になったとき、生きがいにしていききたいことについては、「趣味やスポーツ活動」(15.5%)、「家族との団らん」(14.5%)、「友人や知人との交流」(14.4%)、「旅行に行くこと」(13.2%)という回答が多くなっている。
- ・ 「老人クラブの活動」(1.8%)、「自治会活動」(1.3%)など、身近な地域活動に対する関心は低くなっている。

○ 65歳以上の高齢者になったとき、生きがいにしていききたいこと



(3) 地域包括支援センターの認知度

- ・ 地域包括支援センターの認知度は、「利用したことがある」(4.2%)、「知っているが利用したことはない」(37.9%)を合わせると 42.1%となり、前回の調査結果から 12 ポイント改善した。

○ 地域包括支援センターの認知度

選択項目	平成23年度		平成20年度	
	人数	構成比	人数	構成比
利用したことがある	33人	4.2%	16人	3.4%
知っているが利用したことはない	299人	37.9%	107人	22.5%
知らない	457人	57.9%	352人	74.1%
無回答	21人	-	10人	-
合計	810人	100.0%	485人	100.0%

(4) 介護保険制度の認知度

- ・ 介護保険制度の認知度は、「よく知っている (6.1%)」, 「ある程度知っている (36.4%)」を合わせると42.5%となっている。
- ・ 「あまり知らない (36.1%)」と「ほとんど知らない (21.4%)」を合わせると、57.5%の人が「知らない」と回答しているものの、前回の調査結果と比較すると13.1ポイント改善している。

○ 介護保険制度の認知度

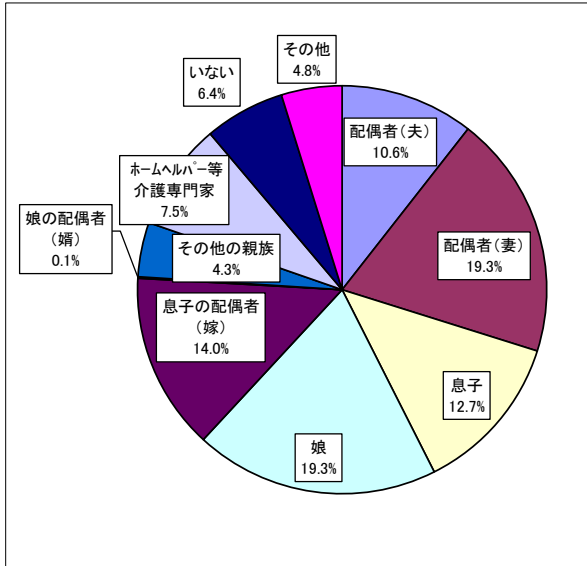
選択項目	平成23年度		平成20年度		平成17年度	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
よく知っている	49人	6.1%	13人	2.7%	38人	3.4%
ある程度知っている	292人	36.4%	127人	26.7%	265人	23.7%
あまり知らない	290人	36.1%	186人	39.2%	421人	37.7%
ほとんど知らない	172人	21.4%	149人	31.4%	392人	35.1%
無回答	7人	-	10人	-	43人	-
合計	810人	100.0%	485人	100.0%	1,159人	100.0%

3 介護保険利用者実態調査

(1) 主な介護者

- ・ 主な介護者については、「配偶者(妻)」(19.3%)、「娘」(19.3%)、「息子の配偶者(嫁)」(14.0%)の順になっている。

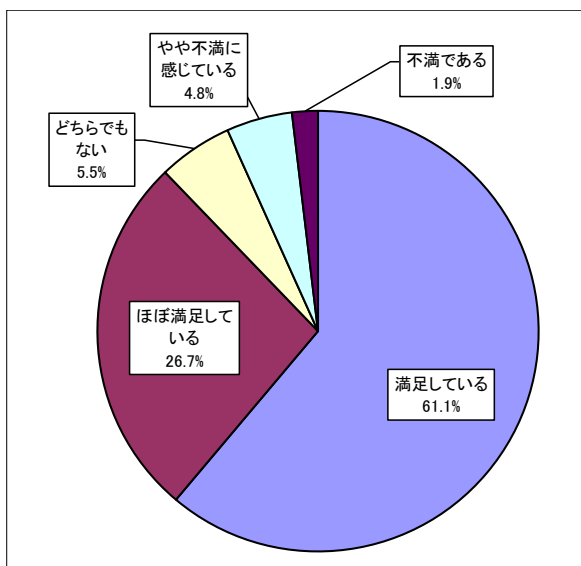
○ 主な介護者



(2) 介護サービス計画（ケアプラン）に対する満足度

- ・ 介護サービスを現在利用している方を対象に調査した結果、介護サービス計画（ケアプラン）に対する満足度については、「満足している」(61.1%)との回答が多くなっており、「ほぼ満足している」(26.7%)との合計では 87.8%となっている。

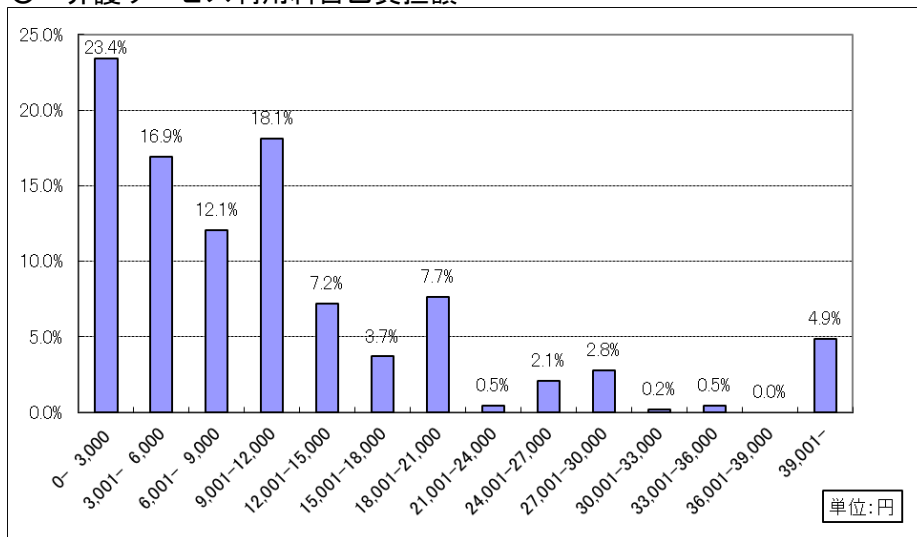
○ 介護サービス計画（ケアプラン）に対する満足度



(3) 介護サービス利用料自己負担額

- ・ 介護サービスを現在利用している方を対象に調査した結果、介護サービス利用料自己負担額の1か月あたりの平均利用額は、11,481円となっている。

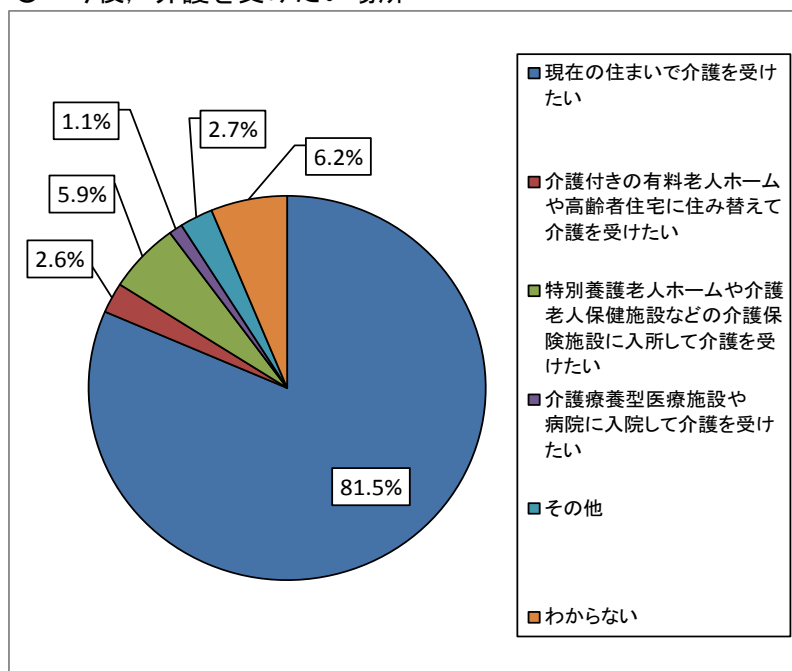
○ 介護サービス利用料自己負担額



(4) 今後、介護を受けたい場所

- ・ 調査対象者のうち、介護サービス利用者・利用予定者を対象に調査した結果、「現在の住まいで介護を受けたい」(81.5%)との回答が多くなっている。

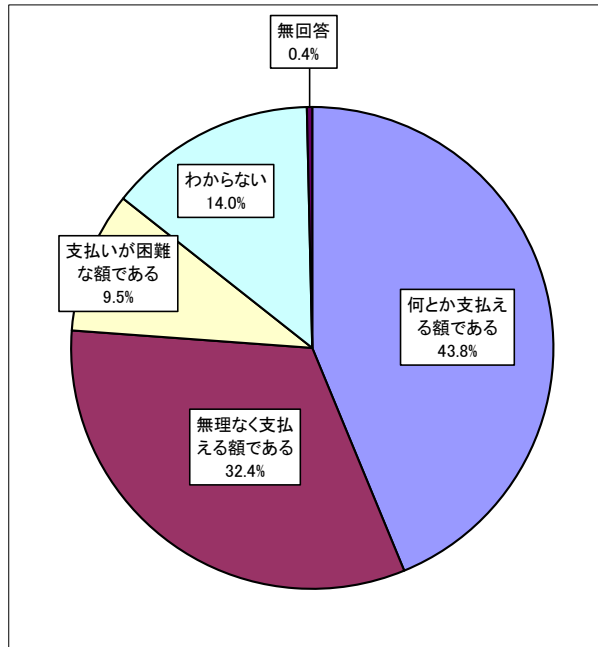
○ 今後、介護を受けたい場所



(5) 介護保険料に対する負担感

- ・ 介護保険料に対する負担感については、「何とか支払える額である」(43.8%)、「無理なく支払える額である」(32.4%)、の順となっている。

○ 介護保険料に対する負担感



(6) 介護保険料とサービスのあり方

- ・ 介護保険料とサービスのあり方については、「保険料もサービスも現状の程度でよい」(56.5%)との回答が多くなっている。

○ 介護保険料とサービスのあり方

